



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月11日

上場会社名 株式会社メディカル光グループ 上場取引所 東
 コード番号 3353 URL <https://www.m-ikkou.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南野 利久
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 財務・IR部長 (氏名) 酒向 良弘 (TEL) 059(226)1193
 四半期報告書提出予定日 2022年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	25,211	7.4	1,008	36.7	1,080	29.1	670	△2.3
2021年2月期第3四半期	23,484	△2.3	737	△19.1	837	△8.5	685	15.4

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 624百万円(20.0%) 2021年2月期第3四半期 520百万円(△17.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	178.38	—
2021年2月期第3四半期	181.49	—

(注) 1 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 当第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年2月期第3四半期及び2021年2月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	29,626	11,708	37.7
2021年2月期	28,554	10,484	36.7

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 11,162百万円 2021年2月期 10,484百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2022年2月期	—	20.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年2月期につきましては分割前の実際の配当金の金額を記載しております。

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,450	5.8	1,240	20.6	1,290	7.3	870	4.2	231.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	4,070,000株	2021年2月期	4,070,000株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	313,973株	2021年2月期	313,834株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	3,756,071株	2021年2月期3Q	3,778,362株

(注) 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年11月30日)における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン効果の浸透と経済社会におけるウィズコロナ対策の定着等により、厳しい環境が徐々に緩和される状況にあります。個人消費においても、経済活動が正常化に向かいつつある中で、回復の兆しが見受けられます。然しながら、足元ではオミクロン株の広まりを背景に感染への警戒感も根強く、当面の景気回復は緩やかなペースとなることが予想されます。

このような環境のもと、当社グループは、引き続き感染防止対策を徹底し、患者さま、利用者さまの安全確保に取り組む、事業活動の継続に努めてまいりました。

調剤薬局事業におきましては、地域包括ケアシステムの一翼を担うべく、健康サポート薬局の適合に向けた活動をはじめ、地域に密着した取り組みに注力してまいりました。新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種においては、薬剤師を派遣しワクチン接種の補助作業に従事するなど、新型コロナウイルス感染症の収束に向けて積極的に取り組んでまいりました。こうした活動を通して、当社グループは、引き続き病院や診療所、介護施設とも連携を密にとりながら、地域の皆さまに選ばれる薬局づくりを行ってまいります。

ヘルスケア事業におきましては、介護サービス利用者の増加に伴い多様化するニーズに応える事業展開を行うとともに、ウィズコロナの環境下において介護サービスの社会的重要性が改めて認識されるなか、安定的な介護人材の確保と介護サービスの質の向上に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高25,211百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益1,008百万円(前年同期比36.7%増)、経常利益1,080百万円(前年同期比29.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、670百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の第5波が収束に向かい、緊急事態宣言が本年9月末で解除されたこともあり、医療機関への受診抑制緩和の傾向が続きました。この為、既存店の応需処方箋枚数は前年同期を上回る状況にあります。処方箋単価も足元では前年実績を上回り、調剤売上高は堅調に推移しました。

この結果、売上高17,003百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益1,131百万円(前年同期比15.4%増)となりました。なお、当第3四半期末における当社グループの調剤薬局は合計91店舗となっております。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、感染防止対策を徹底し、利用者さまに寄り添い安心して快適に過ごせる介護サービスの提供を推進しております。入居系施設におきましては、2020年11月に有料老人ホームを運営する株式会社ライフケアのグループ化が寄与し、入居者数の増加に繋がっております。通所介護事業におきましては前期より続いていた利用控えが収束しつつあり、稼働率は前年同期を上回る状況が続いております。

この結果、売上高5,903百万円(前年同期比23.2%増)、営業利益224百万円(前年同期比57.4%増)となりました。なお、当第3四半期末における当社グループの居住系介護サービスは、合計42施設(居室数1,417室)、在宅系介護サービスにおいては、通所介護事業所22ヶ所、居宅介護支援事業所18ヶ所、小規模多機能ホーム10施設、福祉用具レンタル・販売7拠点、訪問介護事業所6ヶ所、訪問看護事業所3ヶ所、ショートステイ1施設と、幅広く介護サービスを提供しております。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、コロナ禍における営業活動の制約や外来診療の抑制等による需要減少は底を打ち、回復基調が続いております。また、経費削減と効率化を進め収益性も改善がみられる状況にあります。

この結果、売上高2,129百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益72百万円(前年同期比53.9%増)となりました。(内部売上を含む売上高は2,936百万円となり、前年同期比で7.3%増加しました。)

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高174百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益97百万円(前年同期比12.6%増)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益115百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として807百万円を消去するとともに、全社における共通経費として517百万円を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は29,626百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,071百万円増加いたしました。

流動資産の合計は15,128百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,473百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が871百万円、売掛金が319百万円、商品が291百万円それぞれ増加したこと等によるものです。固定資産の合計は14,497百万円となり、前連結会計年度末と比較して401百万円減少いたしました。これは主に、土地が562百万円増加したものの、有形固定資産のその他が421百万円、建物及び構築物(純額)が247百万円、のれんが182百万円、投資有価証券が156百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は17,917百万円となり、前連結会計年度末と比較して152百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が253百万円、流動負債のその他が201百万円それぞれ増加し、長期借入金(1年内返済予定を含む)及び短期借入金が267百万円、賞与引当金が212百万円、未払法人税等が111百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産合計は11,708百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,224百万円増加いたしました。これは主に、非支配株主持分が546百万円、利益剰余金が519百万円、資本剰余金が227百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、2021年4月12日公表の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,003,288	7,874,912
売掛金	4,737,017	5,056,674
商品	1,095,008	1,386,667
その他	822,283	812,732
貸倒引当金	△2,708	△2,311
流動資産合計	13,654,889	15,128,675
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,185,536	5,938,276
土地	3,176,825	3,739,216
その他(純額)	752,234	330,265
有形固定資産合計	10,114,596	10,007,757
無形固定資産		
のれん	1,749,837	1,567,668
その他	196,998	171,648
無形固定資産合計	1,946,836	1,739,316
投資その他の資産		
投資有価証券	1,090,920	934,152
敷金及び保証金	907,820	890,366
その他	839,237	925,954
投資その他の資産合計	2,837,978	2,750,474
固定資産合計	14,899,411	14,497,548
資産合計	28,554,301	29,626,224
負債の部		
流動負債		
支払手形	45,547	45,334
買掛金	3,445,500	3,699,342
短期借入金	740,000	660,000
1年内返済予定の長期借入金	3,251,061	3,264,370
未払法人税等	359,759	247,829
賞与引当金	221,356	8,686
その他	1,034,774	1,236,407
流動負債合計	9,098,000	9,161,970
固定負債		
長期借入金	7,611,616	7,410,951
リース債務	245,328	214,199
退職給付に係る負債	696,054	739,536
その他	418,475	390,574
固定負債合計	8,971,473	8,755,261
負債合計	18,069,474	17,917,231

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	853,083	1,080,381
利益剰余金	9,246,542	9,766,310
自己株式	△541,555	△541,555
株主資本合計	10,475,069	11,222,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,310	△60,392
退職給付に係る調整累計額	2,446	611
その他の包括利益累計額合計	9,756	△59,780
非支配株主持分	—	546,637
純資産合計	10,484,826	11,708,992
負債純資産合計	28,554,301	29,626,224

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	23,484,264	25,211,390
売上原価	21,094,342	22,467,320
売上総利益	2,389,921	2,744,069
販売費及び一般管理費	1,652,364	1,735,509
営業利益	737,557	1,008,560
営業外収益		
受取利息	1,124	1,062
受取配当金	14,662	17,545
受取保険金	17,463	—
助成金収入	105,331	47,498
違約金収入	—	24,000
その他	21,802	28,336
営業外収益合計	160,384	118,442
営業外費用		
支払利息	39,564	44,352
損害賠償金	17,468	—
その他	3,464	1,869
営業外費用合計	60,497	46,222
経常利益	837,443	1,080,780
特別利益		
固定資産売却益	2,231	1,018
投資有価証券売却益	308,671	115,311
特別利益合計	310,903	116,329
特別損失		
固定資産売却損	117	1,109
固定資産除却損	257	854
投資有価証券売却損	2,517	—
投資有価証券評価損	—	10,000
賃貸借契約解約損	2,506	4,352
特別損失合計	5,399	16,315
税金等調整前四半期純利益	1,142,947	1,180,794
法人税、住民税及び事業税	542,450	559,400
法人税等調整額	△85,267	△72,534
法人税等合計	457,182	486,865
四半期純利益	685,764	693,928
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	23,916
親会社株主に帰属する四半期純利益	685,764	670,011

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	685,764	693,928
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△158,631	△67,683
退職給付に係る調整額	△6,962	△1,835
その他の包括利益合計	△165,594	△69,518
四半期包括利益	520,170	624,409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	520,170	600,474
非支配株主に係る四半期包括利益	—	23,935

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,556,642	4,791,595	1,967,135	168,891	23,484,264	—	23,484,264
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	769,253	1,620	770,873	△770,873	—
計	16,556,642	4,791,595	2,736,389	170,511	24,255,137	△770,873	23,484,264
セグメント利益	980,756	142,878	46,876	86,712	1,257,224	△519,667	737,557

(注) 1 セグメント利益の調整額△519,667千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,024,226千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,003,557	5,903,877	2,129,897	174,057	25,211,390	—	25,211,390
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	450	806,219	1,200	807,869	△807,869	—
計	17,003,557	5,904,327	2,936,116	175,257	26,019,259	△807,869	25,211,390
セグメント利益	1,131,776	224,856	72,123	97,624	1,526,380	△517,820	1,008,560

(注) 1 セグメント利益の調整額△517,820千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,047,348千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2020年11月1日付で行われた株式会社ライフケアとの企業結合について、前連結会計年度においては暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間において確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額の見直しを反映しておりますが、重要な修正は生じておりません。